

誓いの言葉

暖かで心地よい風と、空から差し込む明るい光に、春の訪れを感じます。

日本に限らず、世界では様々な不安や心配、制限が伴う日々が続いております。そのような中で、本日、私たちのために、このように入学式を開いてくださり、新入生一同、心から感謝申し上げます。

今、改めて入試までの日々を振り返ると、最大のライバルは自分自身でした。思うようにいかなかったり、あきらめそうになったりした時もありましたが、「中央高校で多くのことを学び、これまで以上に成長したい。」「全国大会を目標に、部活動に一生懸命励みたい。」「勉強と部活動、どちらか一つではなく、文武両道を目指して最高の高校生活を送りたい。」という気持ちですが、最後まで自分を支えてくれました。

その結果、今日こうして素晴らしい仲間と出会うことができました。

今、私たちはこれまでずっと憧れていた高校生活のスタートラインに立っています。新しい環境での生活に不安もありますが、それ以上にその何倍もの期待が心の中を占めています。

これからの三年間は、一人一人にとって、将来なりたい自分になるために、必要なことを学ぶ準備期間となります。日々めまぐるしく変わる社会の中で逞しく生きるためには、幅広い教養や正しい判断力、そしてどんな大変なことに対しても、最後までやり抜くことができる力が必要です。だからこそ、なりたい自分について具体的に考え、そのためにやらなければいけないことを毎日の目標として掲げ、全力で取り組みたいと思います。

今年、中央高校は創立一〇〇周年を迎えます。記念すべき年に入学できたことを誇りに思い、これまで以上に輝かしい歴史と伝統を築いていくことを約束し、「誓いの言葉」といたします。



令和二年四月七日

新入生代表

佐々木 義 将

